

NEJM 勉強会 2014 年度 第 11 回 2014 年 10 月 3 日 A プリント 担当：大岸誠人
 Case 23-2014 — A 41-Year-Old Man with Fevers, Rash, Pancytopenia, and Abnormal Liver Function
 (New England Journal of Medicine. 2014; 371:358-366. July 24, 2014.)

【患者】 41 歳男性

【主訴】 発熱・皮疹

【現病歴】 当院受診の 8 日前 (Day -2)、3 週間の欧州旅行[ドイツ・スペイン・ポルトガル・英国]から戻ってきていた。旅行中にはマウンテンバイキングやハイキングをしていた。気付いた限りでは昆虫による咬傷はなかった。

6 日前 (Day 0) から発熱 (ピーク時 38.3°C)、疲労感、頭痛、マイルドな咽頭痛が出現した。アスピリンとアセトアミノフェンを内服しており、一過性に改善したものの、症状が継続するため、4 日前 (Day 2) には当院外来を受診した。レンサ球菌迅速抗原検出キットは陰性であり、咽頭培養開始後、ウイルス性咽頭炎の仮診断で帰されたが、症状が増悪したため 2 日前 (Day 4) に再び当院外来を受診。咽頭培養は A 群溶連菌陰性。一般血液検査 (Table 1)、胸部 X 線 (Fig 1) 撮影後、血液培養検体が採取され、経ロドキシサイクリンにていったん帰宅とされた。

昨日 (Day 5) 夕方、40.0°C の高熱と新たに出現した皮疹を主訴に当院救急外来を受診。

【既往歴】 アトピー性皮膚炎 (ステロイド塗布で治療されていた)

【アレルギー歴】 なし

【服薬歴】 ステロイド剤塗布用、アスピリン、アセトアミノフェン

【家族歴】 not available

【生活社会歴】 欧州生まれ、6 か月前にアメリカに移住。しばしば欧州に旅行する。オフィスワーカー。

飲酒：機会飲酒、喫煙：なし、違法薬物：使用していない、性交渉歴：妻のみ (妊娠中)

【ワクチン接種歴】 小児期に推奨されるワクチンは全て接種済 (本人申告)

【Review of Systems (Day 2)】

陽性：発熱 (39.4°C)、疲労感、全身倦怠感、関節痛、発汗、頭痛 (下線部は Day 0 では(-))

陰性：頸部硬直、羞明、咳、消化器症状、咽頭痛 (下線部は Day 0 では(+)だったが Day 2 では消失)

【身体所見 (Day2, Day6)】

<バイタル>BT 38.9°C、PR 95、BP 136/83、RR 16、SpO₂ 97% r.a.

<頭頸部>眼瞼結膜貧血なし、眼球結膜黄染なし、軽度な鼻づまり

<リンパ>左腋窩リンパ節腫大 (直径 1cm、硬)、両側前頸部リンパ節腫脹

<四肢・体幹>複数の色素沈着斑 (何十年も存在している)

〔Day 5〕 胸部・腹部および背部にかすかな非掻痒性皮疹

〔Day 7〕 赤みがかったピンク色の斑丘疹が、額・顔面に出現し、その後四肢にも出現

【検査所見】

<一般検査所見> Table1 参照

<胸部 X 線>左下肺野に斑状のすりガラス陰影が認められた。Fig1 参照

【経過】

ドキシサイクリンは中止され、レボフロキサシンとアセトアミノフェンが開始された。夜間に入り SpO₂ が 93%まで低下した。酸素投与が開始された。翌日、体温は 39.7℃まで上昇した。レボフロキサシンは中止され、セフトリアキソンとアジスロマイシンが替わりに開始された。アセトアミノフェンはイブプロフェンに変更された。25時間の経過観察の後、入院が決定された (Day 6)。この段階で、体温は 38.3℃であり、他のバイタルは正常だった。身体診察上、胸部・腹部および背部に非掻痒性皮疹が認められたほかは変化がなかった。血液培養は依然として全て陰性だった。次の日 (Day 7)、ドーム状の赤みがかったピンク色の斑丘疹が、額・顔面に出現し、その後四肢にも出現した。丘疹は、単形性で、滑らかで、落屑様ではなかった。直径は 1~3mm で、額・顔面、体幹、腕、脚、手、足に出現したが、手掌と足底には出現しなかった。凝固能は正常だった。アジスロマイシンは中止され、ドキシサイクリンとフェキサフェナジンが開始された。Day 7 には患者は解熱し、気分も改善した。中咽頭の硬口蓋にいくつかの点状出血が認められた。

以上の所見を元に、診断的検査が行われた。

Fig 1

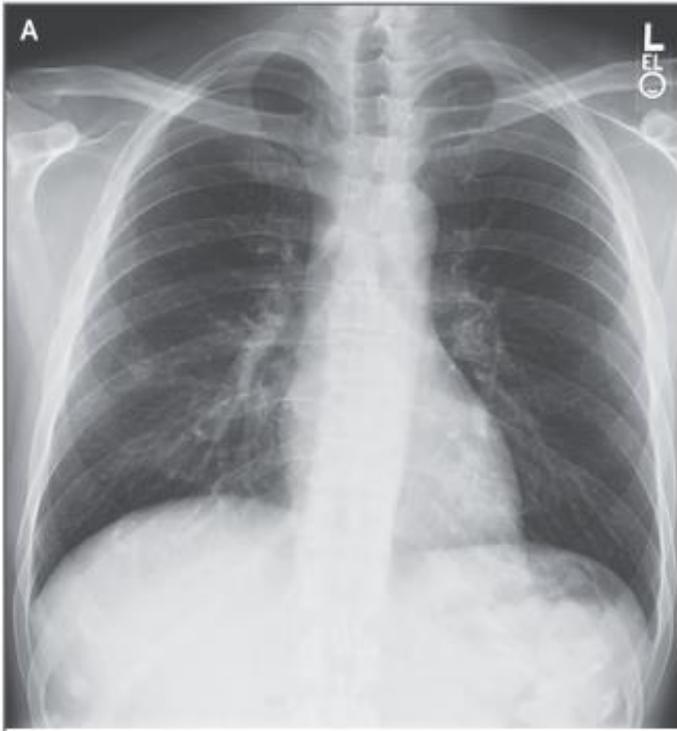


Fig 2

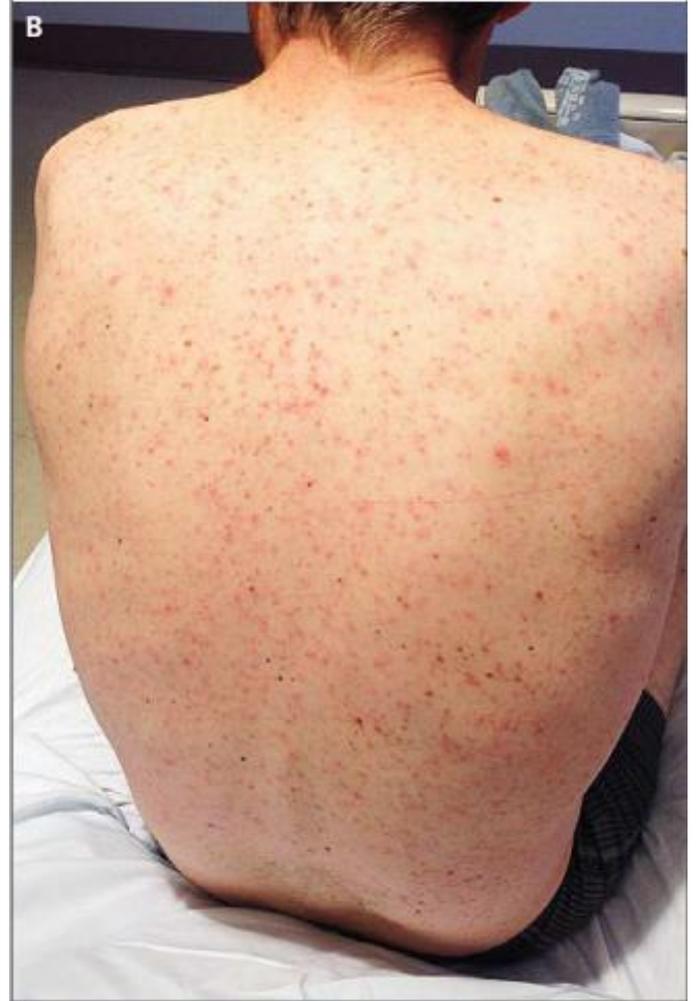


Table 1

Table 1. Laboratory Data.*		Day 4	Day 5	Day 6	Day 8	
Variable	Reference Range, Adults†	2 Days before Admission	1 Day before Admission, Emergency Department	On Admission	12 Hours after Admission	3rd Hospital Day
Hematocrit (%)	41.0–53.0	42.8	42.1	40.7	34.4	39.0
Hemoglobin (g/dl)	13.5–17.5	15.1	15.3	14.6	12.4	13.9
White-cell count (per mm ³)	4500–11,000	5700	3900	2600	2300	4900
Differential count (%)						
Neutrophils	40–70	79.8	76.1	72.2	68.5	29.0
Band forms	0–10					8.0
Lymphocytes	22–44	11.0	14.5	16.3	23.3	45.0
Atypical lymphocytes	0					12.0
Monocytes	4–11	8.8	8.8	10.3	5.2	5.0
Eosinophils	0–8	0.0	0.3	0.4	1.3	1.0
Basophils	0–3	0.2	0.3	0.4	1.3	0.0
Platelet count (per mm ³)	150,000–400,000	125,000	110,000	103,000	99,000	164,000
Erythrocyte sedimentation rate (mm/hr)	0–13	25			23	
Sodium (mmol/liter)	135–145	133		135	134	
Potassium (mmol/liter)	3.4–4.8	4.0		4.0	3.8	
Chloride (mmol/liter)	100–108	94		98	100	
Carbon dioxide (mmol/liter)	23.0–31.9	25.3		27.3	23.2	
Alkaline phosphatase (U/liter)	45–115	67			247	
Aspartate aminotransferase (U/liter)	10–40	36			316	
Alanine aminotransferase (U/liter)	10–55	22			215	
C-reactive protein (mg/liter)	<8				63.4	
Haptoglobin (mg/dl)	16–99				<6	
Lactate dehydrogenase (U/liter)	110–210				694	
Lyme disease screening (IgG and IgM antibodies)			Negative		Negative	
Rapid malaria test (plasmodium antigen)					Negative	
Peripheral-blood smear for malaria and babesia (thick and thin Giemsa stain)					Negative	
HIV-1 and HIV-2 antibody and antigen tests	Nonreactive					Nonreactive
HIV-1 polymerase-chain-reaction assay	Not detected					Not detected

* HIV-1 denotes human immunodeficiency virus type 1, and HIV-2 human immunodeficiency virus type 2.

† Reference values are affected by many variables, including the patient population and the laboratory methods used. The ranges used at Massachusetts General Hospital are for adults who are not pregnant and do not have medical conditions that could affect the results. They may therefore not be appropriate for all patients.